目的

- 災害対応やインフラ点検などで活躍するフィールドロボットの社会実装と普及のため、 市場化・産業化を意識した性能の評価手法の標準化や法制度整備に貢献する評価手法の 検討・開発が必要
- 2025年にフィールドロボットの国際競技会を福島で開催し、これらの評価手法を競技 ルールなどに反映させることで、多くの参加者が使用することによるデファクトスタン ダード化を図る

(令和5年度の取組と目標成果)

競技設計(ルール)の策定

前回競技会の再検証を行い、2025年の国際競技会に向けた競技ルールの検討を行う



トライアルの開催

競技設計の妥当性を確認し、 2025年の国際競技会開催に 必要な運用検証を実施する



広報・PR活動

本競技会及びF-REIの国際的な認知度の向上を図るため、HPや各種展示会等での広報活動を展開する



事業 概要

2025年のフィールドロボットの国際競技会開催に向け、必要な技術検証(競技検証)と開催に必要な運用検証を実施し、課題を抽出